

図書館通信

新着図書紹介

◆今月の1冊◆
『いつかあなたをわすれても』



オザワミカ 絵
桜木紫乃 文
集英社

認知症のおばあちゃんに忘れられてしまったママは、これまでの思い出の荷造り始める。やがて訪れるお別れを前にして、ママから

おばあちゃんへの、そしてわたしへの思いが語られ…。小説「家族じまい」のもうひとつの物語。

◆一般書◆

『白鳥とコウモリ』

東野圭吾 著

『新謎解きはディナーのあとで』

東川篤哉 著

『おしゃべりな人見知り』

山本ゆり 著

『過ぎにし夏、マーズ・ヒルで』

エリザベス・ハンド 著

『新型コロナとワクチンのひみつ』

近藤誠 著

『1人前食堂のからだりセツトごはん』

Mai 著

『はじめてのアクアリウム』

佐々木浩之 著

『スポーツ観戦を楽しむ本』

成美堂出版編集部 編

◆児童書◆
『ねずみくんのピッピピクニック』

上野紀子 絵

『みつばちと少年』

村上しいこ 著
『きたきつねとはるのいのち』

手島圭三郎 絵・文

『うさぎタウンのおむすびやさん』

小手鞠るい 作

『だれのうんち?』

有沢重雄 構成・文

『虫っておもしろい! どうなるの? 虫がいなくなったら』

養老孟司 文

今月のテーマ 「環境について考えよう」

『身近な環境・生活のホントがよくわかる本』

浦野紘平 共著

浦野真弥 共著
オーム社



身近な空気、水、土と森、生物と人体、生活様式、食べ物、エネルギー、ごみに

ついての「ホント」を、100のテーマ、200のコラムでまとめる。イラストや写真も満載。

『環境問題の嘘』

池田清彦 著

『食・農・環境とSDGs』

古沢広祐 著

『地球の自然と環境大百科』

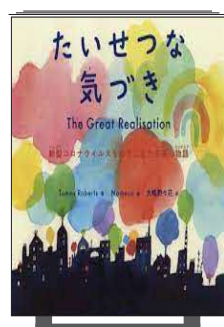
DK社 編著

司書のおすすめ本

図書館司書がおすすめの1冊を紹介します。

『たいせつな気づき』

トモス・ロバーツ 著
創元社



令和2年突如現れた新型コロナウイルスにより私たちの生活は一変しました。この絵本は、環境問題からスマートフォン画面漬

自粛生活によってどう変わったかが描かれている現実に即しているおとぎ話であり、メッセージ性の強い内容となっています。

変わってしまった今を無理に戻そうとせず、良いところを見つけていこうという思いで描かれた、少しだけ今の世界を前向きに捉えられる、子どもに読み聞かせしてほしい一冊です。
(畔上夢花)

寄贈本を ありがとう

- ▽津島利伸さん(宝来第3)
 - ▽村上修一さん(新生)
 - ▽類家邦雄さん(駒場)
 - ▽木村幸那さん(柳町仲)
 - ▽古田昭一さん(緑陽)
 - ▽荃星会おびひろ
 - ▽石井優里恵さん(北蘭北)
- (3月31日までの受け付け分)

申込・問合せ先
○図書館 ☎32-2424、
FAX 32-2566
○図書館分館 ☎ FAX 32-4688